

## 学校新設などに関する市民意向調査「提言書」まとめ

### ① 竹尾緑地案について

- ・SDGsを推進しているのであれば、竹尾緑地はありのままの姿で残すべき（経済優先の開発など大人の都合による開発では地球が生存できなくなることを子どものころから認識してもらうことが教育）。
- ・竹尾地区は100年経っても拠点地区になりえない。
- ・学校は盤石な防災拠点であるべきで、竹尾緑地は立地・地質等不向き。
- ・5-4制が本当に有効なのなら、国全体の仕組み変更であるべきで、話題性や人気取りの一環であるべきでない。
- ・5-4制が素晴らしいというのなら、市内全体に導入してほしい。
- ・教育委員会の説明は事務的で熱意を感じない。
- ・教育長はどうして竹尾緑地なのかという明確な説明がなく残念。
- ・古賀市と隣接している位置、湿地、ため池などから学校建設に適さない。
- ・地下水が湧き出る竹尾緑地をさらに埋め立てて学校建設を行うことは未来の子どもたちに誇れる行為とは思えない。心の奥底がイエスといえないような学校は要らない。
- ・変則的な小中一貫校（5-4制）にチャレンジする前に、施設一体型の小中一貫校を一校作るべき。
- ・教育委員会はなぜ竹尾緑地のみしか案がないのか。
- ・ゲームセンターより学校が後からできる場合はOKというのはおかしい。学校がそんな相応しくない場所を選んで建てるはずがないという理由で名を言われてないだけでは？
- ・1つの小学校から複数の中学校へ進学すると、教育方針の連携が難しいという状況が変だと思う。
- ・学校完成時には南小はピークを過ぎるので、その後減少していく小学校のために市の外れに学校を建てるのはナンセンス。
- ・環境が悪い。
- ・映画館・ゲームセンターがある大型SCの横に学校を建てることは本当に可能か。学校施設整備指針に大きく反する。
- ・5-4制について、1市2制度に、福津市教育委員会及び学校の教員がついていけるのか。
- ・教育委員会の掲げる小中一貫校設立によるコミュニティスクール構想は、小中学校が同じ校舎で9年間過ごさなくては機能しない。
- ・教育委員会の資料で竹尾緑地に学校を作れば、希少生物観察活動など環境

教育を核とするとあるが、ここに建てなくてもこのような教育は可能。

- ・ 9年間同じ学校で過ごすことは、メリットにもデメリットにもなり得る。
- ・ 5-4制は、教合わせにしか聞こえない。
- ・ 沼地、軟弱地盤、自然破壊など学校新設に適さない。
- ・ 市の外れにあり、一部の地域にしかメリットがない。
- ・ イオン(ゲームセンター)も近く、交通量も多く、子どもの安全性に不安が残る。
- ・ 失った環境は取り戻すことができない。竹尾緑地は現状のまま、未来への贈与として残してほしい。
- ・ 福津市の外れで、ため池を背後にするので昨今の記録的豪雨により甚大な被害が出た場合取り返しがつかないことになる。
- ・ 地下水のことが、近隣地域の生活を考えると無視できない。
- ・ 6年生から中学校に移ることによって、下級生の世話をすることで養われるリーダーシップが不足していく可能性がある。現在導入している京都府などの例では、あまり定着せず、小中学校を分離して元に戻す方向に議論が進んでいると聞く。
- ・ 竹尾緑地は、湧水、ため池の水位、地盤の安定性、交通量が多い、映画館やゲームセンターがある、などの危惧がある。
- ・ 教育委員会の説明で、わかたけ案を採用するにあたり校区再編の面倒くささを述べていたことに違和感を感じた。巨額の予算を捻出するため、熱意とパワーをもって臨んでほしい。
- ・ ため池や湧水の不安、交通量が多い、生徒がイオンへ立ち寄るなどの懸念から設置場所に向かない。
- ・ 竹尾緑地は、安全ではないと聞いていたが、調査結果では大差ないと感じた。
- ・ 6年生は最上級生として同じ校舎で学校生活を送った方がよりよい成長の機会を得られると思う。
- ・ 校区によって制度が違うのも気になる。
- ・ 竹尾緑地案は、課題点が多く、素直に賛同できない。
- ・ 竹尾緑地を進める理由が、通学区域審議会の校区再編を避けたいという意見かららしいが、子どもたちが2年以上も不自由している状況をどうして無視できるのか問いたい。
- ・ 小中一貫でやりたいというのであれば、手光でも土地を購入すればいいだけのこと。
- ・ 水質・水脈の変化によって、水の問題が近隣地域に起こりうる可能性があるなら反対。

地下水、福津市の端、交通渋滞、30年後の学校のことを考えると難しい。

## ② 公民館・わかたけ広場案について

- ・市長の説明には学校建設への思いや方向性や熱意を感じる。
- ・遺跡等心配な面もあるとのことだったが、キャンプ場も利用でき、市の中心であり、校区再編の丁寧な説明を行えば適地。
- ・福津市の中心に福津の歴史を踏まえた学校を作ることは魅力。
- ・校区再編の必要性には説得力がある。
- ・中央公民館案には未来を感じるが、中学校で東中へ進学する地域を設ける等人数の偏りをもう少し検討したらもっとよい案になる。
- ・市長を先頭に一丸となって推進すること。教育委員会の協力が必要不可欠。
- ・遺跡については、津屋崎小の例もあり、教育財産として十分活用可能。
- ・通学路に、万が一事件に巻き込まれそうになったときに逃げ込める環境がない。
- ・宮司地区への思い以外には福津市の教育をどうしたいのか。
- ・中学校も含めた対策案を検討いただきたい。
- ・市の中心で、別の施設へ有効活用できるならよい。
- ・地理的条件・人口の増減から、わかたけ地区への小学校建設を希望します。
- ・手光は、環境はいい。広さと試掘問題が解消されるか不安。
- ・どうしても建設するなら、中央公民館の案の方が適している。
- ・中央公民館敷地は中学校新設には用地買収が必要だが、宅地ほどの費用にはならないし、地盤は安定している。ふくとびあ、子育て支援センター、フクスタ、保育園等があり、教育環境に恵まれる。
- ・地盤がしっかりしており、高台で避難所に適するから中央公民館・わかたけ広場に小学校を建設するのが最適と思われる。
- ・手光案は、立地はとてもいいが、小学校のみでは中学校の過大規模化に対応できない。
- ・手光小学校案に賛成（色々な出会いから友達をたくさん作れる）
- ・周りに住宅地がなく、小学生にしては遠い。
- ・15年後に市役所にするなどしたらいい。
- ・古墳が出ると遅れる可能性が高い。

## ③ 校区について

- ・学区制をすぐにでも見直すべき
- ・郷づくりにとって、学区の見直しは、地域活動をより活性化できるという効果もある。市となったのだから、市全体の視点から学区制を見直すべき

- ・花見地区で校区再編を経験したが、福津市は、他自治体の校区再編成功例を参考に市内全体の抜本的な校区の見直しをすべき状況にある。
- ・学区制を超えた入学を大幅に認めることで各学校の特性を生かした多様性のある教育機会を与えることができるのではないか。
- ・全校区再編。津屋崎小・福間小・福間南小→勝浦小・神興小・神興東小・上西郷小へ児童数を移す
- ・校区再編を行うのであれば、通学区域審議会の答申を実質廃棄する根拠と丁寧な市民への説明が必要。
- ・福間・津屋崎の校区割がそのままなのが問題なのでは。
- ・校区再編は不可避では？
- ・隣接市（古賀、宗像）の学校も含めた校区選択を可能とすべき。
- ・校区変更、校区外に通うことに賛同する保護者の把握等建設せずすむ方策を検討することが重要。
- ・校区は再編してもよい。
- ・校区再編をしたり、特認制度を導入して、人数をうまく分配できないか。
- ・校区の見直しをするべき。
- ・校区再編、校区選択、広域行政などで児童数の緩和を図ってほしい。
- ・大規模な校区変更、自由選択制にする。
- ・校区ありきになっていないか。校区の特色を生かし、自由に選択できるようにできないか。
- ・校区再編は、どちらかに決定したら当該地区の保護者にすぐ説明に行ってください。特例は認めない方がいいと思う。
- ・校区再編は必要だと思う。
- ・新設ではなく校区の変更をする。
- ・校区割り（子どもの対応能力は高く、それほど問題ないのではないか。改革には痛みを伴うもの。大人の都合や不安を納得、説得していくのが行政のあり方ではないか。）

#### ④ 校舎について

- ・生徒数が減った既存の学校を増築するなどして利用する。
- ・将来学校が必要なくなっても使えるような場所に。
- ・まちの中より周りに自然がたくさんある場所に。
- ・穴を掘ったり、草を引っっこ抜いたり荒っぽい使い方ができる場所に。
- ・既存の学校を再整備するのと新設する経費を比べるべき。
- ・将来学校が必要なくなっても使えるように。

- ・その後の活用に耐える資源節約、活用のモデルケースとなりえる計画としてほしい。
- ・福間小・南小は、教室が足りているから新学校建設までこのまま放置という考えはやめてほしい。
- ・廃校になる学校ができることを避けてほしいから、今ある学校を有効活用することを優先してほしい。
- ・新設する場合でも、他の企業や施設等で再利用できることを見越した学校にしてほしい。
- ・新設するのであれば、将来も使うことができる建物に。
- ・期間限定校（民間の土地も視野に10年限りのプレハブ校）はどうか。

#### ⑤ 小中一貫教育、CSについて

- ・市内全域で小中一貫校を導入し、教育格差がないようにする。
- ・小中一貫校（施設一体型）を計画してはどうか。
- ・5-4制は現代の児童生徒の心身の成長に合致すると思う。
- ・中央公民館・わかたけ広場敷地に中学校を新設し、福間小とわかたけ中、南小と福間中で5-4制の小中一貫校としてほしい。
- ・郷づくり協議会とCSのあり方の意見交換をすべき。
- ・コミュニティスクールの活性化を推進するなら、課の縦割りをなくし、市全体で取り組むべき。

#### ⑥ ICT教育について

- ・英語・ICは、あくまでツールなので、目的とするのではなく、これを駆使してどう表現する能力を身につけさせるかが重要
- ・オンライン授業を推進していく必要がある。
- ・ICT教育の推進、自宅学習の確立、地域留学制度の拡大（勝浦地区のみならず、神興、神興東、上西郷においても）
- ・教師の負担軽減のためにも、ICT・リモートを進めてほしい。
- ・ICTを駆使して学力の平均化を図ってほしい。

#### ⑦ その他

- ・教育委員会と市長の意思疎通がどうして図れないのか。
- ・市長と教育委員会が一丸となって迅速に対応すべき。

- ・行政と市民が一体となって取り組むことが重要。
- ・福津市市政全体の課題として、総力をあげて取り組むべき。
- ・国が定めた最低設置基準に照らし合わせると、福津市は中学校の敷地面積にはかなりの余裕があるが、小学校が詰め込みになっているので、小学校新設から考えるべき
- ・現在通学している生徒・先生のことを最優先に考えるべき。
- ・福間小・福間南小・福間中の現場の声を再度ヒアリングするべき。
- ・55億円未来につなげるように有効に使ってほしい。
- ・SNSなどを使って誹謗中傷はやめるべき。
- ・批判に惑わされず、市政を進めるべき。
- ・市民投票を行うべき。
- ・手段としてスクールバスを導入すれば、生徒の通学負担を軽減できる。
- ・舞の里小学校の利用は考えられないか。
- ・これからも他市に誇れる福津市であってほしい。
- ・建設候補地の安全性、自然環境の保護に関して、第三者機関による客観的な評価をもとに議論すべき。
- ・市長から「教育行政の介入と言われてもやります」という趣旨の発言があったが、市民を分断する一方の先頭に立つリーダーシップではなく、市民を融和して先頭に立つリーダーシップを期待する。
- ・教育の未来を語るべき皆さんが、児童や生徒に見せることができないような手法で議論を戦わせることはないようにしてもらいたい。
- ・中学生に対し、企業関係者、福祉関係者、農業関係者、技術研究者等幅広い分野から講師をお願いしたい。
- ・部活動の顧問は専門家に委託して、教員の負担を軽減し、授業や日頃の児童生徒との関わりに集中できるようにするべき。
- ・地域のつながりを増やすことが学校教育の向上につながる。
- ・校区、人口密度、通学路の安全性、防災拠点としての観点、オンライン授業の活用など議論が不十分。
- ・「ハコさえ作れば子どもは育つ」と勘違いしていないか。
- ・過大規模になれば教育はおろそかになるのか、運動場が少ないのは悪なのか検証することが先ではないか。
- ・今後このような機会には、前後関係を明確にさせていただき、参加する側も議題に対する知識・意見を持った上で参加しなければならない。
- ・新設ありきではなく、新設ゼロベースから検討しなおして頂きたい。
- ・教育委員会、市長歩み寄り、両者のプランのよいところをミックスした上で、1チームとなってほしい。

- ・学校候補地選定の経緯を公の場で説明してほしい。
- ・教育委員会は、市の関係部署ときちんと連携をとり、総合的なまちづくりの一環として学校建設を進めてほしい。
- ・それぞれのプレゼンをもう一度、「福津市民が必要とする学校建設」という視点で市民に再プレゼンできるよう検討してください。
- ・小学校で唐突に学校建設に係るアンケート調査が行われたが、教育委員会は学校長を指導監督する立場なので、中立性をたもつべく学校長・教職員を指導してください。情報を正しく提示しないままのアンケート調査は不要な憶測を生みかねません。
- ・第3回が終了後に、教育委員会の一人が参加者の女性に「もっと援護射撃をしてくださいよ」と発言していた。これは大問題です。
- ・西福間5区の空き地や福間南一丁目付近の購入も今一度検討してほしい。
- ・56億の予算で2つ建てることはできないか。
- ・「何ができるか」を市、教育委員会が対立するのではなく、協調して取り組んでほしい。
- ・スクールバスの運用。
- ・広報で、福津市で今人口が増え、子どもたちの学ぶ学校が過大規模化している経緯を出すべき。
- ・市長、教育委員会が対立するのではなく、お互いに歩み寄って話し合っしてほしい。
- ・子どもたちと市民とともに、数十年かけて桜を植樹するのはどうか。
- ・令和6年までの教育もしっかり考えてほしい。
- ・令和6年から、10年後のことも検討してほしい。
- ・PTA、自治会などから出ている意見も公示してほしい。
- ・今足りないのは小学校。中学校建設は先送りにし、最優先課題に取り組むべき。